

葉栗連区

令和3年9月

地域づくり協議会だより 59号

発行日：令和3年9月1日 発行者：葉栗連区地域づくり協議会

一宮市大毛字南出120番地（葉栗出張所内） 電話：28-9001

☆ 市制施行100周年記念事業 『島文楽』公演を開催します。 ☆

「島文楽」は、島村地方に伝わる人形芝居で、昔から人々に親しまれてきました。

昭和36年3月27日に一宮市の無形民俗文化財に指定され、平成元年3月22日には人形36点が、一宮市の有形文化財となっています。

文楽は、義太夫節の語りに合わせて演じられる操り人形芝居で、人形浄瑠璃ともいいます。

文楽人形の最大の特徴は「三人遣い」で、その中心になる人を「主遣い」といい、人形の背中から左手を差し込み、人形の首の部分につながる胴串という棒を握って人形全体を支え、右手で人形の右手を遣います。「左遣い」は右手で人形の左手を遣い、「足遣い」は後ろから中腰に構え足の運びを操ります。人形遣いが観客から見えていることも、他の操り人形にはない文楽の大きな特徴です。

地域づくり協議会では、市制施行100周年記念事業として、「島文楽」公演を開催します。コロナ対策のため事前予約とします。

また、徳川家から奉納された若栗神社所蔵の「お守刀」の展示および吉川宮司による「若栗神社の謂われ」、島文楽保存会小島会長による「島文楽と人形」の講演も行います。

公演日・申込要領

公演日	令和3年9月12日（日）	午前10時と午後2時
公演場所	葉栗公民館大会議室	
申込受付日	令和3年9月6日（月）	9:00~12:00（一人で2人分迄申し込み可）
申込場所	葉栗出張所玄関ロビー	
定員	各公演とも60名（定員になり次第締め切り）	

☆ 恒例の『島文楽』虫干し ☆

8月1日（日）、「島文楽保存会」による恒例の虫干しが島村公民館で行われました。蔵に保管されている60点余りの人形が虫干しのため所狭しと並べられ、髪を整えたり、着物のほころびや人形の修理など保存会会員が手際よく作業を行いました。



午前11時と午後2時に練習を兼ねて「傾城阿波の鳴門巡礼の段」が披露され、終了後、来場した児童らが人形の操り方を熱心に学んでいました。来年も8月第一日曜日に開催を予定しています。ぜひお出かけください。



☆ 君もサバイバルマスターになろう！！ ☆

7月18日（日）、災害時の水の確保について考える講座が138タワーパークで開催されました。この『サバイバルマスターになろう』は、「ファイヤー」「ウォーター」「シェルター」「フード」「SOS」「ファーストエイド」「ナイフ」「チームビルド」の8項目の講座があり、災害時に生き延びるために必要なスキルを学習します。

今回の「ウォーター」の講座は、災害時、泥水のろ過で飲料水が手に入るのかを検証しました。

参加した児童らは、切り取ったペットボトルに砂利や活性炭、ティッシュを自由に詰め、手作りのろ過装置を作り、ろ過を試しましたが、飲料水としては適さないことを理解しました。何回もろ過すれば水は透明になりますが、雑菌などは取り除けず、川の水も同じことで、実際は飲める水は簡単には手に入らない事も学びました。

講師の方からは、災害時には飲料用以外にも生活のために水が必要なことを学び、普段から水を備え、簡易トイレなど水を使わない工夫を家族で話し合っしてほしいと呼びかけられました。水の確保の難しさがわかり、大変有意義な講座でした。

次回は、9月20日（祝）に開催予定です。138タワーパークのホームページで確認してください。



☆ 一宮市の花「キキョウ」を各町内会に配付しました。 ☆

平成18年7月25日に市民投票により一宮市の花として「キキョウ」が選ばれました。

地域づくり協議会では、市制施行100周年記念事業として、7月25日、各町内会および学校関係に「キキョウ」の花を配付しました。

各町内の公民館、ちびっこ広場、公園などに植えてあります。各家庭でも植えてみませんか？



いちばん
だいすき。
一宮

市制施行 100 周年
桔梗の花を咲かそう！！

郷土の戦国武將



兼松 正吉(かねまつ まさよし)②

正吉は、1570年から1580年にかけて行われた石山合戦にも参戦しています。石山本願寺方の武將長末新七郎を毛利長秀とともに突き伏せましたが、正吉は長秀の功績であるとして自ら首をとることをせず、長秀にと譲歩している間にどちらも功績を挙げることができなかつたという逸話もあるようです。正吉は正直な性格ではあつたが、分を過ぎた野心を持たない人でした。

1582年の「本能寺の変」により信長没後は尾張に戻り、織田信雄に仕えました。

「小牧・長久手の戦い」では信雄に従軍して戦い、信雄没後は豊臣秀吉に仕えました。

秀吉の黄母衣衆(きほろしゅう)【武者揃えの際に名誉となる黄色の母衣指物の着用を許された者のこと】に加えられ、尾張国丹羽郡内に1000石を領するまでになりました。秀吉没後は徳川家康に仕えました。

1600年「会津征伐」、「岐阜城攻め」、「関ヶ原の戦い」では家康に従軍しました。

戦後は、家康の子である清洲城主松平忠吉の与力となり、2600石を知行しました。忠吉が早世した後、徳川義直に仕え尾張藩士となりました。

1605年正吉は、武人の神である石清水八幡宮を崇敬していたので、武運長久祈願のために島村の若栗神社に八幡宮を合祀しました。若栗神社は、男子出生の神社として信仰が厚かつた。

尾張藩第七代藩主宗春公と栄間院との間には男の子がなかつたので、正吉合祀の縁により若栗神社に祈願したところ男の子が生まれました。栄間院は、葵紋付の長持にお守刀・小袖を添えて若栗神社に奉納しました。

正吉は、寛永3年(1627)9月5日に86歳で亡くなりました。墓所は信長の家臣平手政秀の菩提寺である名古屋市中区の政秀寺にあります。正吉の生家兼松家では、正吉の菩提を弔うために兼松家の菩提寺である島村東林寺に供養塔を建立しました。(本堂の裏手に供養塔があります)



↑旧兼松家武家屋敷門(東山動植物園)

※昭和42年名古屋市東区水筒先にあった尾張藩士兼松家の屋敷門を植物園に移築したものです。(上)

ぜんしょうさいとうえいこうこじ
←兼松正吉供養塔「前匠作一當英公居士」
(島村東林寺墓苑)

お知らせ

「葉栗史誌」を販売しています。

昭和29年3月、一宮市史葉栗編の編さんに着手しましたが、諸般の事情により中断し、昭和49年9月、葉栗村が一宮市に併合された35周年の記念事業として、大正6年8月発行の「葉栗村志稿」を再発行しました。

昭和59年度になり、葉栗連区町会長会、社会福祉協議会葉栗支会の要請により、「葉栗史誌」の編さんに努め、昭和61年11月、第1集として「神社仏閣編」の発行となりました。

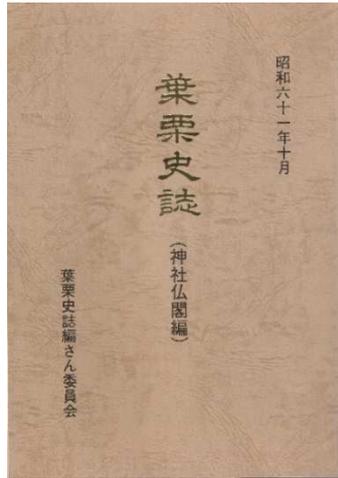
第2集として、平成7年3月に「地名編など」を発行しました。

「神社仏閣編」は、各町内の神社仏閣の所在地、祭神、宗派、山号、寺号、面積、由緒、沿革など細かく調査されています。地域づくり協議会だよりの『歴史探訪』にも活用しています。

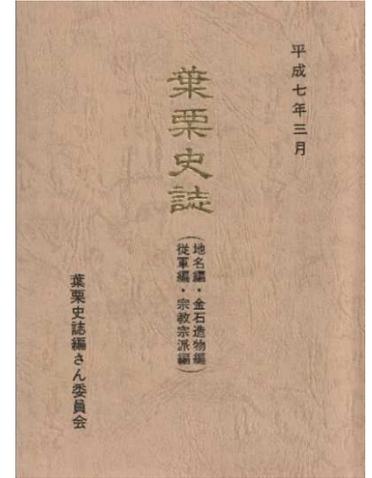
「地名編など」は、葉栗郡から一宮市への編入の流れ、町内名や大字、小字がつけられた由来などが記されており、葉栗連区の歴史的背景を知ることができる大変興味深いものです。

地域の再発見として活用してみてもはいかがでしょうか？

第1集、第2集セットで3,000円です。ご希望の方は、葉栗出張所窓口でお買い求めください。



＜第1集 神社仏閣編＞



＜第2集 地名編他＞

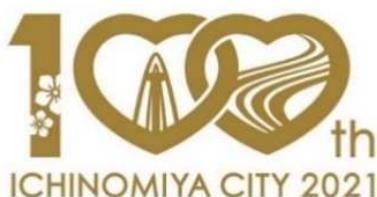
葉栗連区連区敬老会について

葉栗連区敬老会は、新型コロナウイルスの感染防止から、昨年に引き続き開催が中止となりました。

対象者である75歳以上（昭和21年12月31日までに生まれの方）に、お祝いとして『地域お買物券』を郵送します。

葉栗連区内のお店でご利用ください。郵送されたハガキ（A4サイズ）にお買物券が使えるお店が書いてあります。

使用期限は、令和3年10月31日（日）までです。期間内にご利用をお願いします。



＜地域お買物券見本＞